

# 地方独立行政法人奈良県立病院機構中期計画

## 目次

項目	頁
シンボルマーク	2
法人の理念	2
法人の決意	3
<b><u>I. 患者にとって最適な医療の提供</u></b>	
1. 全職員が一体となって中期目標を達成すること	4
2. 患者が満足する医療サービスの提供	5
3. 断らない救急の実現	6
4. 質の高いがん医療	7
5. 周産期医療体制の強化	8
6. 小児医療体制の整備	9
7. リハビリテーション機能の充実	10
8. 高齢者を対象とした医療体制の整備	12
9. 医療安全・院内感染の防止	14
10. 新病院整備の推進	15
<b><u>II. 県民の健康維持への貢献</u></b>	
1. 県内の医療機関との連携・協力体制の充実	16
2. 県内の医療レベル向上に向けた支援	17
3. 災害医療体制の強化	18
4. 県民への医療・健康情報の提供	19
5. 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援	20
<b><u>III. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成</u></b>	
1. 最高レベルの医の心をもった人材の確保、育成	21
2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成	22
<b><u>IV. 自立した経営</u></b>	
1. 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立	24
2. 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成	25
3. 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営	26
4. 業務運営の効率化と財務内容の改善	27
<b><u>V. 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画</u></b>	29
<b><u>VI. 短期借入金の限度額</u></b>	29
<b><u>VII. 出資に係る不要財産の処分に関する計画</u></b>	29
<b><u>VIII. 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</u></b>	29
<b><u>IX. 剰余金の使途</u></b>	29
<b><u>X. 料金に関する事項</u></b>	29
<b><u>XI. 県の規則で定める業務運営に関する事項</u></b>	29

## シンボルマーク



患者、県民を表す球を優しく守るように包む2枚の葉が、それぞれ「医の心」と「医の技」を表しています。  
奈良の豊かな山々「青垣」をイメージするグリーンをイメージカラーとしています。

## 法人の理念

“医の心と技”を最高レベルに磨き、  
県民の健康を生涯にわたって支え続けます。

## 法人の決意

すべての職員が、患者の視点に立った医療を提供できる組織文化をつくります。

県民の健康を守るため、県内の医療機関と連携し、病院完結型から地域完結型の医療提供体制を目指し、その基幹病院となります。

職員が誇りとやりがいをもって働くことができる職場環境をつくり、次代を担う医療人の育成に取り組みます。

## I. 患者にとって最適な医療の提供

### 1. 全職員が一体となって中期目標を達成すること

#### 中期計画

法人の決意

全職員が法人の理念を理解し、中期目標の達成に取り組む

#### 取組項目

中期目標の達成に向けて、全職員が一体となって取り組む組織文化を醸成する

#### ○法人の理念及び中期目標・中期計画の浸透

##### 理事会、経営企画会議等での決定事項の全職員への周知

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
理事会、経営企画会議毎月各1回開催				

##### 3病院合同での会議等の開催

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
3病院合同で部門別の連絡会議の開催				

##### 各病院での経営体制の強化

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
病院ごとの経営企画委員会毎月開催				

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 2. 患者が満足する医療サービスの提供

### 中期計画

法人の決意

## 患者の視点に立った医療の提供

### 取組項目

- ・ホスピタリティマインドの向上を図る
- ・患者に対する適切な医療情報の提供
- ・患者が治療に専念できる環境を充実させる

- 患者満足度調査、患者の声等の患者意見を分析し、病院運営に反映させる  
患者満足度「病院に満足しているか」

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
入院	79%	常に前年度より改善させる				
外来	70%					

- 教育研修センターでの接遇・リスクマネジメント・コミュニケーション研修等の実施
- 臨床指標(クリニカルインディケーター)の設定と公開
- インフォームドコンセントの徹底
  - ・クリニカルパスの整備・運用
  - ・チーム医療体制の充実
- 患者・患者家族に対する相談機能の充実
  - ・患者支援センターの設置
- 外国人患者受け入れ体制整備

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	体制整備等準備			受け入れ	

- 病院機能評価の認証取得  
(総合医療センター・西和医療センター・リハビリテーションセンター)
- 患者が治療に専念できる環境を充実させる
  - ・ハード・ソフト両面にわたる患者の視点にたったアメニティづくり
  - ・コンシェルジュの配置
  - ・最新の医療機器の整備
- 職員満足度調査の結果を分析し、病院運営に反映させる  
職員満足度「職場に満足しているか」

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	51%	常に前年度より改善させる				80%以上

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 3. 断らない救急の実現

### 中期計画

法人の決意

24時間365日の救急搬送受入を可能とする

### 取組項目

- ・ 受入体制の構築
- ・ 人材の確保、養成
- ・ 院内後方支援・連携体制の整備

### 共通項目

#### ○搬送要請された救急患者を全て受け入れる

- ・ 院内の各科での受入体制の充実
- ・ 救急専門医の確保、育成
- ・ 他病院との連携体制の構築
- ・ 専従のトリアージ・ナースの育成、配置

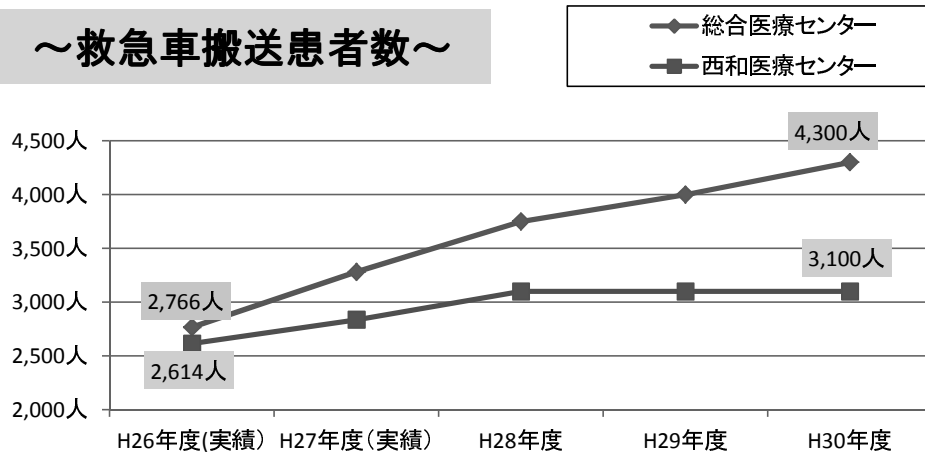
#### 総合医療センター

- ・ 特に重篤な救急患者を全て受け入れる
- ・ ER体制を実現する
- ・ 脳梗塞、脳内出血、急性心筋梗塞に対して早期治療ができる体制強化
- ・ 精神科身体合併症患者の受け入れ体制の構築

#### 西和医療センター

- ・ 広く二次救急患者を受け入れるため、救急部を整備し、救急部専任医師当直体制を確立する
- ・ 特に重篤な循環器系救急患者を全て受け入れる
- ・ 循環器疾患への高度医療の提供のため、心臓血管治療部門及び集中治療部門を充実させる
- ・ 脳卒中の24時間早期治療体制の充実

### ～救急車搬送患者数～



# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 4. 質の高いがん医療

### 中期計画

#### 法人の決意

県内の医療機関と連携して県内でがん治療を希望する県民を100%受け入れるために、主体的な役割を果たす

#### 取組項目

- ・手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供
- ・早期がんだけでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応
- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能の発揮
- ・人材の確保、養成

#### 放射線治療件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	7,063件					20%増 8,500件

#### 外来化学療法件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	2,066件					倍増 4,000件
西和	393件					倍増 800件

#### 共通項目

- がん連携パスの稼働を促進し、地域の医療機関との連携の強化
- 人材の確保、養成
  - ・放射線治療専門医、がん薬物療法専門医、乳腺外科医、緩和ケア専門医、血液内科専門医 等
  - ・医学物理士、放射線治療品質管理士
  - ・がん薬物療法認定薬剤師、認定看護師、がん看護専門看護師

#### 総合医療センター

- 手術療法、放射線療法、化学療法などのがんの集学的治療の提供
  - ・早期がんだけでなく他病院では診ることができない進行がんにも対応
- 新病院の整備
  - ・最新医療機器（放射線治療機器3台）の導入
  - ・外来化学療法室の拡充（7台→20台）
  - ・緩和ケア病棟20床の設置

#### 西和医療センター

- 手術療法の充実
- 外来化学療法の充実  
（放射線治療については新病院建設時に導入の検討）



# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 5. 周産期医療体制の強化

### 中期計画

#### 法人の決意

ハイリスク妊婦・新生児の県外搬送ゼロを目指すために  
貢献する

#### 取組項目

- ・ 24時間365日のハイリスク妊産婦及び新生児の搬送受入を可能とする体制の強化
- ・ 西和医療センターにおける産科の再開

#### NICU病床利用率

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	98.5%					93.0%

#### GCU病床利用率

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	82.4%					85.0%

#### 分娩件数(うち帝王切開件数)

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	472件 (171件)					20%増 560件 (210件)

#### ○ 24時間365日のハイリスク妊産婦及び新生児の搬送受入を可能とする体制の強化

- ・ 周産期医療を担う人材の確保、育成  
(小児循環器医、小児外科医、小児心臓血管外科医等)
- ・ 新総合医療センターにおける病床の整備  
MFICU 3床、NICU 12床、GCU 18床を整備する
- ・ 新生児搬送、ドクターカーの運用

#### ○ 西和医療センターにおける産科の再開

- ・ 医師の確保
- ・ 助産師の養成、確保

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	5人			8人

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 6. 小児医療体制の整備

### 中期計画

#### 法人の決意

- ・ 小児救急患者を確実に受け入れる
- ・ 特化した専門領域の診療の開始を検討する

#### 取組項目

- ・ 小児救急機能の強化
- ・ 人材の確保、育成
- ・ 地域の他病院との連携を強化する

#### 小児患者の救急入院患者数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	561人					倍増 1,000人
西和	203人					倍増 400人

#### 共通項目

- ・ 小児救急機能の強化
- ・ 二次小児輪番の参加病院としての役割を果たす
- ・ 二次小児輪番日以外における対応の検討
- ・ 人材の確保、育成
- ・ 小児看護専門看護師の確保

#### 総合医療センター

- ・ 重症の小児患者の確実な受け入れ
- ・ 重症心身障害児の急性増悪時における受け入れ
- ・ 小児救急を担う医師の確保
- ・ 小児救急看護認定看護師の養成
- ・ 重症患者を受け入れるベッドの整備 (PICU 2床)

#### 西和医療センター

- ・ 二次救急の充実
- ・ 西和地域での休日診療との相互支援 (H28から実施予定)

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 7. リハビリテーション機能の充実

### 中期計画

#### 法人の決意

- ・ 患者の多様なニーズに対応できる高度・専門的リハビリテーションを提供する
- ・ 急性期から回復期にかけての一貫した最適なリハビリを行い、多くの方が在宅復帰できるよう支援する
- ・ 障害児（者）医療の提供・充実

#### 取組項目

- ・ 急性期については総合医療センター・西和医療センターにおいて、回復期にかけては総合リハビリテーションセンターにおいて役割を担当
- ・ 発達障害児に対する感覚統合療法の充実
- ・ 障害児（者）に対する外科的治療の充実

#### 心大血管 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	1,547件					40%増 4,200件
西和	—	見込 2,800件				12%増 3,200件

#### 脳血管 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	13,422件					5%増 14,000件
西和	9,337件					15%増 10,800件
リハ	168,174件					2.5%増 172,200件

#### 運動器 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	7,626件					20%増 9,000件
西和	7,475件					15%増 8,600件
リハ	33,134件					50%増 49,400件

#### 小児 リハビリテーション実施件数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
リハ	39,871人					2.5%増 41,000人

#### 法人内からリハビリテーションセンターへの受入件数を倍増

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	21件					倍増

## I. 患者にとって最適な医療の提供

### 7. リハビリテーション機能の充実

#### 中期計画

##### 法人の決意

- ・患者の多様なニーズに対応できる高度・専門的リハビリテーションを提供する
- ・急性期から回復期にかけての一貫した最適なりハビリを行い、多くの方が在宅復帰できるよう支援する
- ・障害児（者）医療の提供・充実

##### 取組項目

###### 共通項目

- 地域医療連携室の強化
  - ・3病院の地域医療連携室の共働
  - ・在宅復帰支援の充実
  - ・維持期リハビリテーションへの円滑な移行

###### リハビリテーションセンター

- 中核リハビリテーション施設としての充実強化を図る
  - ・高次脳機能障害、脊髄損傷、摂食嚥下障害など多様な疾患に幅広く対応
  - ・最新のリハビリ療法やロボットスーツなどの先進訓練機器・評価機器の導入
  - ・摂食機能療法の充実
  - ・急性期病院からの早期受け入れを可能とする医療体制の整備
- 人材の確保、養成
  - ・リハビリテーション科専門医
  - ・発達障害児に対応する小児科・児童精神科医師の確保
  - ・認定看護師
  - ・専門性の高いリハビリ療法を担うセラピストの養成
- 小児の発達障害の診療及びリハビリテーション
- ロコモティブシンドロームに関わる検診コースの整備

###### 総合医療センター

- ・体制を強化し、365日リハビリテーションを実施する

###### 西和医療センター

- ・体制を強化し、心臓リハビリテーションを実施・充実させる
- ・急性期における高次脳機能障害、言語障害、摂食嚥下障害に対する支援の充実・強化

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 8. 高齢者を対象とした医療体制の整備

### 中期計画

#### 法人の決意

関節障害等をはじめとする筋骨格系疾患や、将来的に要介護リスクが高まる患者（ロコモティブシンドローム）への対応体制を整備する

#### 取組項目

【運動器】法人内の病院における役割分担

#### ロコモティブシンドロームの認知度

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
調査実施	3病院での認知度を80%にする			80%

#### [運動器疾患]

- 法人内の病院における役割分担
- 回復期・維持期の医療を提供する地域の医療機関との連携の強化
- ロコモティブシンドロームについて、関係機関、在宅医療提供機関との連携のコントロールタワーとしての役割を担当

#### 西和医療センター

- 運動器疾患への対応
- ロコモティブシンドローム専門外来を設置し、体制を充実させる
- 西和地域でのサテライト拠点におけるロコモティブシンドロームの普及・啓発

#### リハビリテーションセンター

- ロコモティブシンドロームにかかわる検診コースの整備

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 8. 高齢者を対象とした医療体制の整備

### 中期計画

#### 法人の決意

糖尿病治療の拠点病院として、安心して良質な糖尿病の専門治療を提供する

#### 取組項目

【糖尿病】 チーム医療の活動強化  
 人材の確保、養成  
 地域の医療機関へのサポート

#### 糖尿病専門診療科の設置

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
準備		専門診療科の設置		

#### 共通項目

- チーム医療の活動強化
- 人材の確保、養成
  - ・ 糖尿病治療を担う人材の確保
  - ・ 糖尿病専門医
  - ・ 糖尿病看護認定看護師
  - ・ 糖尿病療養指導士
- 地域の医療機関へのサポート
- 専門的治療、慢性合併症治療、初期・安定期治療を担う医療機関との連携強化

#### 総合医療センター

- ・ 糖尿病の急性合併症、急性増悪時の患者を受け入れる
- ・ 糖尿病サポートチーム・キドニーサポートチーム・フットケア外来・チーム医療の充実を図る

#### 西和医療センター

- ・ 高齢者の糖尿病性壊疽及び下肢閉塞性動脈硬化症のための下肢創傷治療体制の確立

#### リハビリテーションセンター

- ・ フットケア外来の充実を図る

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 9. 医療安全・院内感染の防止

### 中期計画

法人の決意

医療安全・院内感染防止対策を徹底する

### 取組項目

- ・法人における医療安全管理体制の確立  
(外部委員を入れた医療事故調査委員会の設置・運営)
- ・3病院合同の事例検討発表会の実施

法人における医療安全管理体制の確立  
(外部委員を入れた医療事故調査委員会の設置・運営)

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
検討		設置		

- 新病院の機能充実に向け計画的に取り組む
- 院内における医療安全対策体制の見直し
  - ・安全対策委員会の開催
  - ・医療事故、トラブル事例の調査・報告、調整会議
  - ・医療事故調査委員会等の設置
- インシデント・アクシデントに係る調査、分析、防止対策
  - ・医療安全部会における、調査、分析、情報の周知及び事例検討の実施
  - ・死亡例全例及び重大合併症を対象とした検討会を多職種参加で定期開催(毎月1回)
  - ・警鐘事例は3病院合同検討会開催(年1回)
- 医療相談
  - ・各部署における医療安全管理に関する相談・助言(メディエーター的役割として)
- 院内感染に係る調査、研究、予防対策
  - ・院内感染の発生原因の究明
  - ・防止対策の確立
  - ・3病院で院内感染対策サーベランス(JANIS)に参加
  - ・感染に関する研究会の開催
- 病院機能評価の取得(再掲)

# I. 患者にとって最適な医療の提供

## 10. 新病院整備の推進

### 中期計画

法人の決意

新病院の機能充実に向け計画的に取り組む

#### 取組項目

##### 新総合医療センターの整備

H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
計画的に準備			H28年度中 完成予定	開院	

##### 新西和医療センターの整備等

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
方針決定	調査 計画 設計			

##### 看護専門学校統合校の整備

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
設計	工事・完成		開校	

##### 3病院共通の電子カルテシステム整備

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
検討	設計	システム構築	稼働	

- 医師、看護師等の計画的な人材確保
- 運営計画、機器選定について計画的に準備
- 電子カルテシステムの整備(マイ健康カードのモデル実施)



## II. 県民の健康維持への貢献

### 1. 県内の医療機関との連携・協力体制の充実

#### 中期計画

##### 法人の決意

- ・ 患者にとって最適な医療を提供するため、県内の医療機関との連携を積極的に推進する
- ・ 地域医療連携パスの運用促進に貢献する

##### 取組項目

- ・ 地域医療支援病院としての機能強化
- ・ 退院調整会議の充実
- ・ 地域包括支援センターとの連携強化

##### 退院調整会議の開催・回数

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	3病院	開催			倍増
西和	共通の				
リハ	定義設定				

##### 地域医療支援病院として地域医療機関の医療従事者向け研修会の実施回数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	12回	毎年12回以上開催				12回以上 開催
西和	6回					

- 地域医療支援病院としての機能強化
  - ・ 3病院の地域医療連携室の機能強化
  - ・ 3病院の地域医療連携室の共働
  - ・ 地域医療連携パスの運用促進
  - ・ 地域の医療機関との連携のさらなる強化
  - ・ 地域医療機関の医療従事者向けの研修会の開催
- 地域包括支援センターとの連携強化
  - ・ 在宅医療への支援
  - ・ 保健師との交流、情報共有

## II. 県民の健康維持への貢献

### 2. 県内の医療レベル向上に向けた支援

#### 中期計画

##### 法人の決意

- ・ 教育研修センターの充実
- ・ 県内の医師や看護師等医療従事者の資質向上を支援する

##### 取組項目

- ・ 教育研修センターにおいて県内の医療機関に開放した研修の実施
- ・ 県内の医療機関への施設・設備の開放

#### ○ 県内の医療レベルの向上に向けた支援 教育研修センターの充実

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
充実した研修の実施				
新病院の研修施設の整備			研修のさらなる充実	

- ・ 県内の医療機関の医療従事者への研修機会の提供
- ・ 県内の医療機関の医療従事者の短期・長期研修等受け入れ
- ・ 救急救命士の病院実習の受け入れ  
(生涯教育実習・気管挿管実習・薬剤投与実習)
- ・ 県内の医療機関の医療従事者への研修棟の設備、医療機材の利用促進
- ・ 潜在看護師への研修の実施

## II. 県民の健康維持への貢献

### 3. 災害医療体制の強化

#### 中期計画

##### 法人の決意

- ・ 災害時においても病院機能を維持し、受入体制を拡充する
- ・ 他地域での災害に備えた災害医療派遣体制を充実させる

##### 取組項目

- ・ 災害対応体制の充実
- ・ 人材の育成
- ・ 災害発生時における県との円滑な連携
- ・ 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築

##### 訓練実施回数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	3回	3回	3回	3回	3回	3回
西和	0回	3回	3回	3回	3回	3回
リハ	—	2回	2回	2回	2回	2回

##### DMAT要員の配置人数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	15人	16人	20人	20人	20人	20人

##### 共通項目

###### ○災害対応体制の充実

- ・ 災害を想定した3病院合同訓練の実施(年2回)
- ・ 災害時を想定した構造設備、スペースの確保
- ・ 地域の中核病院として、災害発生時の受入体制の強化
- ・ 危機管理マニュアルの充実
- ・ 災害時に備えた診療材料・医薬品等の必要物品・備品の備蓄及び定期点検
- ・ 災害研修の実施

###### ○人材の育成

- ・ トリアージのできる人材の育成

##### 総合医療センター

- ・ 災害拠点病院としての機能強化
- ・ 専門性の高いスタッフ(DMAT等)の配置、育成
- ・ DMATを常時2チーム派遣できる体制の整備
- ・ ドクターヘリ等で搬送される重症な患者の積極的な受け入れ
- ・ 新病院における感染症病床の整備、受入体制の構築(感染症病床 6床整備)

##### 西和医療センター

- ・ DMAT体制の整備

## Ⅱ. 県民の健康維持への貢献

### 4. 県民への医療・健康情報の提供

#### 中期計画

##### 法人の決意

県民が最適な医療が選択できるよう、県民に対して医療サービス情報を積極的に発信する

##### 取組項目

- ・ 臨床指標を含む情報の公開・発信
- ・ 広報担当者の配置
- ・ 公開講座の実施

#### 臨床指標を含む情報の公開・発信

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合 西和 リハ	臨床指標 の設定 ・公開	数値の改善			

- 情報の公開・発信
  - ・ 医療の質向上のための臨床指標(クリニカルインディケーター)の設定と公開
  - ・ 治療体制、治療方法等
  - ・ 治療機器、配置機器
- 広報担当
  - ・ 広報担当者の配置
  - ・ タイムリーな情報の更新
- 公開講座等の実施
  - ・ 頻度の高い疾患の治療・予防についての公開講座の開催(ロコモティブシンドローム等)
  - ・ 西和地域でのサテライト拠点を中心にロコモティブシンドローム等の普及・啓発

## Ⅱ. 県民の健康維持への貢献

### 5. 県が実施する健康長寿のまちづくりへの支援

#### 中期計画

法人の決意

県と協働して、地域包括ケアシステムの構築に貢献する

#### 取組項目

##### 平松周辺地域でのまちづくりへの参画

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
マイ健康 カードの 導入検討	→		マイ健康 カードの 運用	→

##### 西和地域でのまちづくりへの参画

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
マイ健康 カードの 導入検討	→		マイ健康 カードの 運用	→

- 電子カルテと連動したマイ健康カードの導入
- 県が実施する平松周辺地域でのまちづくりへの参画
- 県が実施する西和地域でのまちづくりへの参画
  - ・ 王寺駅前ビルを活用した地域包括ケアシステム拠点への参画
- 地域包括支援センターとの連携
  - ・ 在宅医療への支援
  - ・ 保健師との交流、情報共有

### Ⅲ. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

#### 1. 最高レベルの医の心をもった人材の確保、育成

#### 中期計画

#### 法人の決意

- ・ 職員のホスピタリティマインド醸成を図る
- ・ 働きがいを感じる仕組みと働きやすい職場環境をつくる
- ・ ワークライフバランスの実現

#### 取組項目

- ・ ホスピタリティマインド醸成研修の実施
- ・ ワークライフバランスの実現

#### ○ ホスピタリティマインド醸成研修の実施

- ・ 民間派遣研修の実施、接遇研修の開催

接遇研修参加人数

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	54人					
西和	34人	500人	500人	500人	600人	600人
リハ	34人					

#### ○ 意欲を引き出す人事給与制度の導入

- ・ 働きや成果に応じた適正な評価制度・給与制度の導入
- ・ 職員の表彰制度の創設

評価制度の見直し・新制度導入

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
見直し		新制度 導入	→		

#### ○ ワークライフバランスの実現

- ・ 短時間勤務正職員など多様な勤務形態の導入
- ・ 子育て職員の支援、介護の支援
- ・ 院内保育の充実  
リハビリテーションセンターにおける保育体制の検討
- ・ 育休からの復帰など個々の状況に応じた復職支援プログラムを構築

ワークライフバランス推進委員会の設置・運営

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
設置 年4回開催		→			

院内保育の充実

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
病児保育		開設 (三室)	→		開設 (奈良)
夜間保育	夜間保育の現状検証・改善検討・実施 →				

### Ⅲ. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

#### 2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成

#### 中期計画

#### 法人の決意

- ・すべての職員の卒後教育、生涯教育を一元的に管理
- ・専門知識を有する職員を積極的に確保
- ・看護学生の育成をサポート

#### 取組項目

- ・教育研修センターの設置と充実
- ・看護専門学校の教育内容、教育体制を充実する

- すべての職員の卒後教育、生涯教育を一元的に管理
  - ・2017年度からの新しい専門医制度に見合う後期研修制度、専攻医の魅力ある修練体制を構築し、キャリア形成支援を行う
  - ・後期研修医プログラムの構築等
  - ・新人看護師の実践教育の充実
  - ・専門・実践研修の実施(病院マネジメント研修を含む)
  - ・事務部門における経営のプロの養成
  - ・リーダー育成のための研修の実施(職位別研修、専門研修)
- 臨床研究(・治験)を行うと同時に、客観的データから科学的根拠に基づき自ら評価を行い、質の高い医療の提供に努める
- 地域貢献
  - ・施設・設備の開放、センターが中心となって開催する医療従事者向けの研修や症例検討会等
  - ・県内の医療機関の医療従事者の短期・長期研修等受け入れ
- キャリアアップ・スキルアップの支援
  - ・国内留学制度、海外留学制度の導入
  - ・国内外の大学・研究機関等との連携
  - ・教育研修体制の充実
  - ・認定看護師等の資格取得支援
  - ・大学修学等のための自己啓発休業の導入

#### 認定看護師数

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	8人	11人	16人	18人	19人	20人
西和	4人	4人	7人	10人	11人	12人
リハ	1人	3人	4人	5人	5人	6人

- 専門知識を有する職員を積極的に確保
  - ・専門医、専門看護師の確保
  - ・認定薬剤師、医学物理士等の確保
  - ・専門知識を有した事務職員の確保

### Ⅲ. 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

#### 2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成

#### 中期計画

#### 法人の決意

- ・すべての職員の卒後教育、生涯教育を一元的に管理
- ・専門知識を有する職員を積極的に確保
- ・看護学生の育成をサポート

#### 取組項目

- 魅力ある勤務環境を構築するとともに、戦略的な広報の展開
  - ・後期研修医の処遇改善、長期プログラムの構築
  - ・リクルート活動の強化
  - ・看護部のインターンシップのカリキュラムの充実、受入体制の見直し
  - ・看護技術の向上など看護部の活性化を図るため、大学卒等の看護師の積極的な確保
- 国際交流
  - ・外国人医療従事者の受け入れによる医療技術交流

#### 外国人医療従事者の受け入れ

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
体制検討 ・整備	協定締結 通訳確保等	受け入れ 準備	受け入れ (2人)	→

- 看護学生の育成をサポート
  - ・看護部の教育実習内容の充実、受入体制の見直し
- 臨床経験豊富な教員の養成、情熱・責任感・主体性のある教員の確保
- 病院看護部との連携

#### 国家試験合格率(看護専門学校)

	H24年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総合	89.5%	100%	100%	100%	100%	100%
西和	100%					

#### 法人看護専門学校から法人への就職率(H25年度は見込値)

H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
47.6%	60%	65%	70%	80%	80%



## IV. 自立した経営

### 1. 権限と責任を明確にしたガバナンス体制の確立

#### 中期計画

#### 法人の決意

中期目標を達成するため、責任ある意思決定体制の構築を行う

#### 取組項目

- ・ 経営企画機能の強化
- ・ 中期計画・年次計画の適正な実施

#### ○ 経営企画機能の強化

- ・ 理事会、経営企画会議の定期的な開催による迅速な意思決定  
(四半期ごとにチェックが可能となる仕組みづくり、診療報酬の改定や患者ニーズの変化への柔軟な対応、月次収支を踏まえた改善の実施)

理事会、経営企画会議等での決定事項の全職員への周知

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
理事会、経営企画会議毎月各1回開催				

#### 3病院合同での会議等の開催

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
3病院合同で部門別の連絡会議の開催				

#### 各病院での経営体制の強化

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
病院ごとの経営企画委員会毎月開催				

- ・ コンプライアンス体制の確立
- ・ 必要に応じた組織体制の見直し、各部門の責任者の明確化
- ・ 事務部門等の専門性の向上  
(医療経営、診療報酬制度、地方独立行政法人会計、簿記、コミュニケーション、医療メディエーターにかかる研修会への参加)
- ・ 専門知識を有した事務職員等の確保(診療情報管理士、医療経営士 等)

#### ○ 中期計画・年次計画の適正な実施

- ・ PDCAサイクルの確立と職員の意識改革  
(全ての職員による評価指標の数値の把握と改善の実施)

## IV. 自立した経営

### 2. 経営に対する責任感をもって業務改善に取り組む組織文化の醸成

#### 中期計画

##### 法人の決意

個人の行動を組織のゴール・価値観に合致させる

##### 取組項目

- ・ 組織アイデンティティ・ロイヤリティ の確立
  - ・ 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援
  - ・ 成功を認め、讃える組織文化の形成
- 
- 組織アイデンティティ・ロイヤリティの確立
    - ・ 法人の基本理念を浸透させるための採用時研修の実施
    - ・ リーダー研修・マネジメント研修・コミュニケーション研修等の充実
    - ・ 各病院において、診療報酬制度等の研修会による職員の経営意識の醸成
  - 法人に関する情報の発信・共有による経営参画意識の向上支援
    - ・ 広報担当者の配置
    - ・ 経営企画委員会等の定期的な開催を通じて経営指標や問題点等の情報共有
    - ・ 職員満足度調査の実施及び結果に基づく改善
    - ・ イン트라ネットの活用・経営情報等の掲示
    - ・ 全職員でのコミュニケーションの場の創出
  - 業務改善に係る提案や取組みを奨励し、評価する仕組みの構築
    - ・ 優れた改善取組の法人全体への反映
    - ・ 表彰の実施と優秀事例発表会の開催

## IV. 自立した経営

### 3. 医療制度等の変化への迅速・柔軟な対応と自立した財務運営

#### 中期計画

##### 法人の決意

成長のための再投資が可能となるような財務運営を実行する

##### 取組項目

- ・ 経常収支比率を高い水準で維持する
- ・ 内部留保を確保する

##### 経常収支比率

	H24年度(実績)	H26年度(実績)	H27年度(実績)	H28年度	H29年度	H30年度
総合	105.8%	94.8%	98.1%	98.6%	97.3%	80.1%
西和	96.3%	85.3%	90.6%	93.9%	100.6%	100.3%
リハ	104.8%	93.2%	93.3%	94.0%	96.2%	99.3%

##### ○ 効率的・効果的な予算執行

- ・ スケールメリットを活かした契約手法の導入、業務の集約化
- ・ 中長期の予算計画等地方独立行政法人会計制度の活用

##### ○ 収益の確保

###### 【適正な診療報酬の請求】

- ・ 診療報酬の改定や患者ニーズの変化への柔軟な対応
- ・ 診療報酬請求内容のチェック体制の充実による、請求漏れ防止対策の推進  
診療報酬改定や法改正への的確な対応(専門知識を有した事務職員等の配置)

###### 【病床利用の適正化】

- ・ 病病、病診連携の強化、病床管理の弾力化による病床利用率の向上

###### 【未収金発生防止及び回収強化】

- ・ 未収金回収専門員の配置、専門業者への委託
- ・ 患者支払い相談の実施による収納率の向上

###### 【資産有効活用・施設マネジメント】

- ・ 高度医療機器の稼働率の向上

##### ○ 費用の節減

###### 【経費削減】

- ・ 複数年契約(診療材料購買契約等)や複合契約など、多様な契約・委託方法の活用による費用の縮減

###### 【材料費削減】

- ・ 薬品、診療材料等の材料費の見直し

##### ○ 人件費比率の適正化

##### ○ 専門知識を有した事務職員等の確保(診療情報管理士、医療経営士等)

##### ○ 経営管理手法の活用

## IV. 自立した経営

### 4. 業務運営の効率化と財務内容の改善

#### 中期計画

#### 法人の決意

奈良県立病院機構改革プランを着実に実行する

#### 取組項目

- ・ 民間的経営手法の導入
- ・ 事業規模・事業形態の見直し
- ・ 経費削減・抑制対策の実施
- ・ 収入増加・確保対策の実施
- ・ 経営改善に関するその他の取組の実施
- ・ 再編・ネットワーク化の検討

#### 経営指標にかかる数値目標

<全体>

収支改善に係るもの	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度	29年度	30年度
経常収支比率(%)	90.4	95.0	95.9	96.6	86.1

<センター別>

1) 収支改善に係るもの	26年度(実績)			27年度(実績)			28年度			29年度			30年度		
	総合	西和	リハ	総合	西和	リハ	総合	西和	リハ	総合	西和	リハ	総合	西和	リハ
経常収支比率(%)	94.8	85.3	93.2	98.1	90.6	93.3	98.6	93.9	94.0	97.3	100.6	96.2	80.1	100.3	99.3
医業収支比率(%)	94.2	85.2	92.5	97.6	90.6	92.7	98.0	93.7	93.5	97.0	100.4	95.6	80.2	100.1	98.7
2) 経費削減に係るもの															
職員給与費対医業収益比率(%)	57.8	58.5	72.6	55.1	55.5	72.2	56.7	54.7	73.3	55.5	51.9	70.9	59.4	52.7	69.0
薬品費対診療収益比率(%)	14.5	11.8	10.1	16.9	13.6	10.1	17.7	11.9	10.1	17.1	11.1	9.8	17.1	11.1	9.7
診療材料費対診療収益比率(%)	12.0	21.5	2.9	11.9	19.5	4.2	11.2	18.1	4.1	10.6	17.1	4.0	13.4	17.1	3.9
減価償却費対診療収益比率(%)	7.1	—	—	5.8	—	—	4.9	—	—	7.5	—	—	18.1	—	—
後発医薬品使用割合(%)	55.3	59.2	—	73.0	70.9	—	82.3	83.0	—	90.0	86.0	—	92.0	86.5	—
3) 収入確保に係るもの															
1日当たり入院患者数(人)	327	232	89.9	336	225	87.8	347	247	91.7	341	264	92.0	359	264	93.5
入院単価(円)	65,687	62,171	31,731	67,441	66,545	35,003	67,423	62,294	34,966	68,518	63,000	36,524	72,118	63,000	38,181
1日当たり外来患者数(人)	928	628	212.8	943	607	209.9	936	595	204.2	932	625	210.1	1,000	650	210.1
外来単価(円)	12,665	10,242	8,675	13,351	10,023	8,805	14,820	10,794	8,557	14,762	11,500	8,821	15,044	11,500	8,821
運用病床数(床)	375	—	—	384	—	—	395	—	—	400	—	—	430	—	—
病床利用率(%)	76.1	77.3	89.9	78.3	74.9	87.8	80.8	82.5	91.7	79.3	88.0	92.0	66.5	88.0	93.5
平均在院日数(日)	11.7	12.2	—	11.8	11.7	—	11.6	11.7	—	11.6	11.7	—	11.0	11.7	—
4) 経営の安定化に係るもの															
医師数(人)	105	50	—	113	56	—	117	58	—	122	58	—	142	58	—

## IV. 自立した経営

### 4. 業務運営の効率化と財務内容の改善

#### 中期計画

#### 法人の決意

### 奈良県立病院機構改革プランを着実に実行する

#### 取組項目

- 民間的経営手法の導入
  - ・診療部長の管理職化とデータに基づく目標管理の徹底
  - ・経営に関わる指標のリアルタイムな明確化と迅速な経営改善のための活用
  - ・多様な採用形態の設置と即戦力となる人材の確保
  - ・医師について、国立病院機構を参考とした給与体系の見直し
  - ・医師以外の職種における職務職階の明確化及び人事評価に基づく昇格・昇級の推進
- 事業規模・事業形態の見直し
  - ・本部事務局の新病院への移転と事務の効率化・経費削減
  - ・(西和)患者動向を踏まえた病床機能の見直しと療養環境の改善(6床室→4床室)
  - ・(リハ)一般病棟の一部について地域包括ケア病床に転換
- 経費削減・抑制対策の実施
  - ・給与体系、手当の見直し
  - ・医師の超過勤務の縮減
  - ・診療材料の調達コストの削減
  - ・薬品の調達コストの削減
  - ・医療機器のコスト削減
  - ・検体外部検査のコスト削減
  - ・試薬の調達コストの削減
- 収入増加・確保対策の実施  
(総合)
  - ・適切な入退院調整による高い病床稼働率の維持
  - ・高度な手術の積極的な実施による診療単価の増加
  - ・ER体制による救急受入
  - ・地域の医療機関との連携強化、積極的な訪問活動による紹介患者数の増加  
(西和)
  - ・救急医療の充実
  - ・地域の医療機関との連携強化
  - ・ベッドコントロールの徹底
  - ・糖尿病、呼吸器疾患の専門医の確保  
(リハ)
  - ・開業医等への訪問、総合・西和との連携による一般病棟の病床利用率の向上
- 経営改善に関するその他の取組の実施  
(総合、西和)
  - ・DPCⅡ群病院の取得  
(西和、リハ)
  - ・経営上の負担を考慮した、施設整備や医療機器の計画的更新  
(リハ)
  - ・病院機能評価の認証取得
- 再編・ネットワーク化の検討
  - ・県と協議した上で、再編・ネットワーク化計画のとりまとめ

**V 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画**

別紙のとおり

**VI 短期借入金の限度額**

8,000百万円とする。

**VII 出資に係る不要財産の処分に関する計画**

総合医療センターの建替・移転に伴う、現存建物の処分を含めた活用を検討する。

**VIII 前項以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画**

特になし

**IX 剰余金の使途**

決算において剰余金が発生した場合は、診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

**X 料金に関する事項**

**1 料金は、次に掲げる額とする。**

(1) 平成20年厚生労働省告示第59号(診療報酬の算定方法)第1号及び第2号並びに平成18年厚生労働省告示第99号(入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準)の規定により算定した額とする。ただし、労働者災害補償保険法(昭和22年法律第50号)の規定による療養の給付に係るものについては理事長が定める額とし、自動車損害賠償保障法(昭和30年法律第97号)の規定により損害賠償が請求できる場合の医療に係るものについては平成20年厚生労働省告示第59号第1号及び第2号の規定により算定した額に100分の150を乗じて得た額とする。

(2) 前項の規定により算定することができない使用料及び手数料の額は、別に定める額とする。

**2 料金の減免**

理事長は、特別の理由があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができる。

**XI 県の規則で定める業務運営に関する事項**

**1 施設及び設備に関する計画**

施設・設備の内容	予定額	財源
施設、医療機器等整備	総額 約42,000百万円	長期借入金、その他資本収入、自己収入等

**2 積立金の使途**

診療の質の向上、人材育成の充実などに充てる。

**3 その他法人の業務運営に関し必要な事項**

なお、移行前の退職給付引当金の必要額6,040百万円については、移行時に1,491百万円を計上し、残りの額4,549百万円は、中期目標期間内に全額を計上する。

(別紙)

## 1 予算(平成26年度～平成30年度)

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
営業収益	114,314
医業収益	105,859
看護師養成収益	251
運営費交付金	7,531
補助金等	673
営業外収益	1,170
運営費交付金	514
財務収益	0
その他営業外収益	656
資本収入	42,723
運営費交付金	1,003
長期借入金	40,438
その他資本収入	1,282
計	158,207
支出	
営業費用	116,109
医業費用	113,356
給与費	64,194
材料費	30,117
経費	18,662
研究研修費	383
看護師養成費用	1,241
一般管理費	1,512
営業外費用	907
資本支出	47,024
建設改良費	41,952
償還金	5,072
計	164,040

### 【人件費の見積り】

期間中総額67,109百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

### 【運営費交付金の算定ルール】

県から交付される運営費交付金は、下記の算定基準に基づき、一定の仮定の下に試算されたものであり、各事業年度の運営費交付金は、県の予算編成過程において、基準を適用する等により計算し、決定される。

#### ①運営

県立病院に係る平成25年度の普通交付税の基準財政需要額算定方法等に準じて算定

#### ②退職手当

承継職員等に係る退職手当のうち県職員期間としての勤務期間相当分

注)退職手当支払い見込みにより交付し、翌々年度の運営費交付金で精算する。

#### ③法人化前の県債元利償還金

法人化前の施設・設備整備にかかる県債の元利償還額の一定割合

#### ④法人化後の県債元利償還金

法人化後の施設・設備整備にかかる長期借入金の元利償還額の一定割合

なお、長期借入金等元利償還金に充当される運営費交付金は、経常費助成のための運営費交付金とする。



## 2 収支計画(平成26年度～平成30年度)

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入の部	116,756
営業収益	115,459
医業収益	105,859
看護師養成収益	251
運営費交付金	8,534
補助金等収益	673
資産見返負債戻入等	142
営業外収益	1,170
運営費交付金	514
財務収益	0
その他営業外収益	656
臨時利益	127
支出の部	131,132
営業費用	125,078
医業費用	122,290
給与費	65,244
材料費	30,117
経費	18,662
減価償却費	7,884
研究研修費	383
看護師養成費用	1,241
一般管理費	1,547
営業外費用	907
臨時損失	5,147
純利益	△ 14,376

### 3 資金計画(平成26年度～平成30年度)

(単位:百万円)

区 分	金 額
資金収入	175,929
業務活動による収入	115,484
診療業務による収入	105,859
運営費交付金による収入	8,045
補助金等による収入	673
その他の業務活動による収入	907
投資活動による収入	2,285
運営費交付金による収入	1,003
その他の投資活動による収入	1,282
財務活動による収入	54,296
長期借入金による収入	40,438
短期借入金による収入	13,858
前期からの繰越金	3,864
資金支出	175,929
業務活動による支出	117,016
給与費支出	64,194
材料費支出	30,117
その他の業務活動による支出	22,705
投資活動による支出	41,952
固定資産の取得による支出	41,952
財務活動による支出	12,550
移行前地方債償還債務の償還による支出	4,213
長期借入金債務の償還による支出	859
短期借入金の返済による支出	7,478
次期への繰越金	4,411